



京都の未来を
創り上げる

京都府職員募集案内

Recruitment Guide

2022

Kyoto Prefectural Government

京都の未来を創り上げる

京都には、長い歴史をかけて先人が守り紡いできた文化や産業、そして、人と人との絆といった「京都力」とも言うべき力があります。人を大切に、地域を大切に。私たちは、この「京都力」を結集し、府民の皆さまとともに、京都府の未来を創り上げていきます。さあ、熱意と志のある皆さん。府内全ての地域が活力にあふれ誇りを持てる、新しい時代の京都府を創り上げるため、私たちとともに歩んでいきましょう！

求める人材

府民目線に立ち、現場主義を徹底できるひと
前例にとらわれず果敢にチャレンジできるひと
府民、市町村、企業、団体などあらゆる主体と連携・協働できるひと

未来を創る若手職員の仕事と想い

行政



須崎 翔太
平成27年度入庁

- 平成27年4月 自然環境保全課
- 平成30年6月 中丹広域振興局 企画振興室
- 令和 3年4月 同局 企画・連携推進課 現在

行政



菱木 智優聖
平成28年度入庁

- 平成28年10月 障害者支援課
- 令和 2年 4月 文化芸術課 現在

土木



松岡 孝太
平成27年度入庁

- 平成27年4月 中丹東土木事務所 河川砂防課
- 平成30年4月 大野ダム総合管理事務所 管理課
- 令和 3年4月 河川課 現在

保健師



船越 瑞貴
平成27年度入庁

- 平成27年4月 丹後保健所 保健課 現在

様々な人と関わりながら、地域の課題を解決

京都府職員を志望した理由を教えてください。
京都府には、伝統的な文化財をはじめ、海・森・お茶の京都など幅広い地域の魅力があり、業務においても、農林水産、健康福祉、文化など幅広い分野で経験を積むことができます。様々な地域、様々な業務を通じて、京都府民のためになる仕事をしたいという思いから志望しました。

現在、担当されている業務について教えてください。
中丹地域(福知山市・舞鶴市・綾部市)の若者Uターン施策として、進学や就職を機に地域を離れた若者が戻ってきたいと思えるよう、地域で働き・暮らす若手社会人をWEBで紹介する事業を担当しています。掲載する方の発掘から取材、記事の制作まで全て担当しています。働く魅力の他にも趣味や休日の過ごし方まで掘り下げて取材し記事にすることで、読んだ方が地域で働きながら暮らすイメージができるように心がけています。

このほか、e-bike(スポーツタイプの電動自転車)による周遊観光の普及や、文化保存や地域活動への補助金業務、振興局全体の予算検討など、幅広い業務を行っています。

仕事をすることで心がけていることやポリシーは何ですか？
「誰のために」「何のために」という部分を立ち止まって考えるようにしています。若者が地域に戻ってきてもらうためには、その当事者である高校生や大学生の声を大切にしたいと思い、振興局にインターンシップに来られる大学生の方にも主体的にWEB記事制作に携わってもらい、学生ならではの視点を取り入れました。

休日や退庁後の過ごし方を教えてください。
写真が趣味で、いわゆる「撮り鉄」なのですが、休日や仕事後の夕暮れ時は撮影場所までドライブをして、鉄道の写真撮影を楽しんでいます。京都府北部では、丹鉄の由良川鉄橋がお気に入りのスポットです。

仕事の“ストライクゾーン”は幅広く、限界は決めない！

京都府職員を志望した理由を教えてください。
大学卒業後、民間企業でテレビの番組制作と某アイドルグループの劇場運営に携っていました。趣味に通じる好きな仕事だった一方、私自身も将来を見据えながら、長く働き続けられる職に就きたいこと、また、学生時代を過ごした京都府に愛着があったため、京都府を志望しました。

現在、担当されている業務について教えてください。
若手アーティストが自ら出展、販売を行う「ARTISTS' FAIR KYOTO」の運営業務を担当しています。この事業は、才能ある若手アーティストが市場開拓に挑み、文化と経済を繋ぐ取組として、2018年から開催しています。

プライベートで来場した際、会場に入ると作品についてアーティストと会話する来場者で熱気に満ち溢れていたことが印象的でイベント準備のやりがいを感じました。

多くの企業からもご支援をいただき、今後世界に羽ばたく若手アーティストの登竜門となるフェアを目指して取り組んでいます。

仕事をすることで心がけていることやポリシーは何ですか？
府民の方の立場に立ってどうすれば良いかを考えることは勿論ですが、仕事を楽しく“ストライクゾーン”は幅広く、限界は決めないようにしています。

どんなことも経験と考え、これは楽しい!と自分なりに思えるポイントを見つけ、前向きに取り組むよう心掛けています。

休日や退庁後の過ごし方を教えてください。
退庁後はよくホットヨガに通ったり、休日は府職員として一番初めに携った障害者スポーツの振興に繋がるイベントのお手伝いや、京都で開催されている展覧会、文化イベントに参加したりしています。

あらゆる主体と連携し、府民の安心・安全を守る

京都府職員を志望した理由を教えてください。
大学生のころ、東日本大震災の震災ボランティアに参加して被災地を訪れたことをきっかけに、インフラの社会における重要性を目の当たりにし、土木の仕事に興味を持ちました。

計画から完成、維持管理まで携わることができるのが、公務員としての土木職の魅力であると感じ、大学での研究内容を活かすことができるのが都道府県、中でも、昔から馴染みのある京都府に貢献したいという思いから志望しました。

現在、担当されている業務について教えてください。
京都府の管理するダム事務所との連絡や調整の業務をしています。特に台風が多い夏から秋にかけては、ダムの放流等について連絡を頻繁に行きます。京都府以外にも川やダムを管理する国土交通省や水資源機構との調整もあります。以前の職場でダム現場の管理担当をしていた経験が、現在の業務に活かされています。

今携わっている業務のやりがいは何ですか？
大雨時の洪水被害を抑制するため、季節を問わず、市町村や国との連絡調整、水害時の演習、他府県との情報交換等を活発に行っています。

台風接近時に皆で協力して無事に大雨を乗り越えられたときにはホッとするとともに、大きなやりがいを感じます。

休日や退庁後の過ごし方を教えてください。
退庁後は、学生時代から続けているバドミントンを楽しんだり、年に数回は友人と登山に行くこともあります。仕事も大事ですが、自分自身の体と心の健康を保つためにも、プライベートをしっかり充実させることも大事です。

現場の声や思いを、事業や施策へと繋げる


京都府職員を志望した理由を教えてください。
保健師として「自分が感じ取った地域の状況を事業や施策につなげられる」仕事ができるのは都道府県だと考え、大学卒業後は他県の保健所保健師として勤務していました。

結婚を機に生活拠点を京都へ移すこととなり、京都府でも保健所保健師として働きたいと考え、志望しました。

現在、担当されている業務について教えてください。
在宅療養の支援体制の充実を目的とした取組を担当しています。高齢になっても住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、医療や介護等の支援が一体的に提供される地域づくりをめざして、関係機関との連携のもと様々な取組を進めています。

現在、担当されている業務で1番印象に残っている仕事は何ですか？
高齢者が入院を必要とした際、在宅での生活を支える関係者と病院スタッフがより円滑に連携を図り、支援ができるように「丹後地域におけるケア移行の手引き」を作成しました。

支援する現場の方からいただいた声をあえてそのまま掲載するなどの工夫をし、当地域ならではのポイントをたくさん盛り込んだ手引きになりました。作成当初は方向性が定まらず、途中悩んで落ち込んだりもしましたが、関係者の方々の熱意と上司・同僚の協力のおかげで作成することができ、どのページを見ても思い入れたっぷりのものとなりました。



休日や退庁後の過ごし方を教えてください。
現在、5歳と1歳の子どもの子育てしており、仕事以外の時間は子育て一色の毎日、同じく府職員である夫とも家事・育児を分担しながら過ごしています。日々の子どもの成長を感じることが、毎日の楽しみです。

中堅・管理職員からのメッセージ

中堅職員



藤山 大輔

平成16年度入庁

平成16年4月 農政課
平成19年4月 府立医科大学事務局 庶務課
平成20年4月 京都府公立大学法人事務局 経理室
平成23年4月 監理課
平成27年4月 経営支援・担い手育成課
平成31年4月 中小企業総合支援課 現在

やるなら「楽しく仕事する」ということ

「仕事をする上で、大事にしていること、心掛けていることを教えてください。」

いち職員としては、やるなら「楽しく仕事する」ということを心掛けています。「楽しさ」の定義は様々ですが、中でも「自分の成長に繋がること」「目の前の課題が解決されること」「自分の得意分野で組織に貢献できること」に楽しさを覚えています。係長としては、係の運営や後輩を指導する上で、「STOP」と「GO」を意識的に伝えることを心掛けています。

どうしてもやらないといけな業務があるときは、係の気持ちを一つにして「GO」をかけ、休めるときや翌日に持ち越しても問題ないときは「STOP」をかけるなど、メリハリをつけた働き方をしてもらえるような声掛けを意識しています。

「人事異動により、大変だったこと、得られたことを教えてください。」

人事異動については、その度に「半分、転職しているようなもの」と感じる事が多く、特に、初めての異動は文化の違いを感じる事が多々ありました。

経験のない部署に転入する際は、新しい人間関係の構築はもとより、業務に関連する団体との調整、関係法令や手続きに係る知識の習得などが必要となりますが、今となっては、これらの経験が自分の成長に繋がったものと感じています。

「若手職員に期待していることを教えてください。」

若いうちにしかできない「経験」や「失敗」があると考えています。日々の業務において、こぞという時の「チャレンジ」を恐れず実行することを期待したいです。

「受験生に向けたメッセージをお願いします。」

コロナ禍により、府民や事業者の皆さんが厳しい状況にある中、京都府庁に求められる役割は、医療、地域経済、文化振興など多岐にわたるものと実感しています。

そんな危機的状況の中で、京都府職員としての業務に取り組むことは、大変でありながら、やりがいのある仕事です。「我こそが京都府を良くするんだ!」という熱意に溢れる方と一緒に仕事ができることを楽しみにしています。

若手職員の自由な発想や思いをフォロー・後押しできるように

「これまでのキャリアを振り返って、京都府職員で良かったことを教えてください。」

多方面の方にお会いする機会があり、視野が広がりました。また、人事異動で様々な部署で多種多様な業務を経験できたこと、自分の仕事が京都府で何らかの役に立っているといえることが良かったなと思います。

「仕事をしていく上で、大事にしていること、心掛けていることを教えてください。」

人の話をよく聞くことです。自分とは違う価値観の方の話を聴くことで思いがけない発見をすることもあります。

担当者のこうしていきいたいという思いを受け止め、実現に向けてのアドバイスや後押しをこれまでの上司にさせていただいてきたこともあり、次は私自身が部下の自由な発想や思いをフォロー・後押しできるようにしていきたいと思っています。

「女性から見た、京都府で働く魅力を教えてください。」

京都府では1時間単位での有給休暇取得や、子供の看護や学校行事参加の際に取得できる「子育て」の特別休暇制度があるなど、福利厚生が充実しており、出産を理由に退職する人はまずありません。

私自身、育休復帰後は、突然の子どもの発熱等で急遽仕事を休まざるを得ず、職場に迷惑をかけて申し訳ないと思うこともありましたが、職場は協力的でした。子どもに手のかかる時期は一時です。助けてもらったことを次に恩返しすれば良いので、ありがたいという気持ちは持ちながら、子どもに向き合う時間を大切にしていきたいと思います。

また、民間企業等で働く友人の話を聞くにつけ、男女関係なく様々な業務を経験させてもらえる京都府は、女性にとって働きやすい職場だなと思います。

「受験生に向けたメッセージをお願いします。」

新型コロナウイルスなどの感染症や未曾有の自然災害などが多発する中、京都府の果たす役割は大きくなっており、前例にとらわれず果敢にチャレンジできる力が求められています。幅広い分野に興味があり、人の役に立つ仕事をしたい方、京都府を就職の選択肢に考えてみませんか。長い歴史の中に紡ぎ受け継がれてきた豊かな文化をはじめ、多彩な観光資源や大学・研究機関の知恵、多様な企業の集積など、「力(ポテンシャル)」のある京都府を、「一人ひとりの夢や希望が全ての地域で実現できる」ようにするため、共に働けることを楽しみにしています。



管理職員

松村 明日香

平成5年度入庁

平成 5年4月 企画政策課
平成 7年4月 秘書課
平成10年6月 文化芸術室(うち育休約1年)
平成17年4月 文教課(うち育休約1年)
平成24年4月 乙訓保健所 環境衛生室
平成27年4月 労働雇用政策課
平成31年4月 人事委員会事務局 総務任用課
令和 3年4月 文教課 現在

人事異動、昇任についてはP6をご覧ください

育児と仕事の両立 | 子ども・家族としっかり向き合える柔軟な働き方を実現!!

「育児と仕事の両立をサポートする制度

●産前産後休暇

出産予定日の8週間(多胎妊娠は14週間)前から産後8週間までの期間

●配偶者の出産に伴う休暇(男性のみ)

配偶者の出産に伴う入院退院の付き添いや、子どもの出生届の提出のために3日/小学校就学前の子どもの養育のために5日

●育児休業

子どもが3歳になるまで取得可能(あらかじめ育児休業等計画書を提出することで何度でも再取得が可能)

●子育て休暇

中学生年代までの子どもを看護する場合や行事(参観や発表会)などに7日

●育児部分休業

子どもが小学生に就学する前まで、1日2時間以内で休業可能

●育児時間休暇

1歳6月未満の子どもを育児する場合に1日90分以内

●育児短時間勤務

子どもが小学校に就学する前まで、定められた勤務形態(1日当たりの勤務時間が短い形態や、1週当たりの勤務日数が少ない形態)から選択し、希望する日及び時間帯で勤務が可能

男性の
育児休業取得率

18.3%
(3年前11.2%)

産休・育休取得 上司・同僚からのサポートでスムーズに職場復帰

「育児と仕事を両立する上で、大事にしていることを教えてください。」

子育てをしていると、いつ子供の体調不良でお休みをすることになるか分からないため、常に仕事は前倒しでやること、係内での情報共有を意識しながら業務をこなしています。また、休みの日は仕事のことは忘れて子どもとの時間を大事にしています。

「育児休業から復職される際、不安はありましたか?」

特に育児時間等の取得により、勤務時間を短縮しての復帰だったので、割り振られた仕事が限られた時間の中でこなせるのか、すぐに仕事のペースに戻るのか、帰宅後に家の事もこなしながら子供との時間をどう確保できるのか不安でした。最初は仕事のペースがつかめず、業務をこなすのに

時間がかかっていましたが、上司や同僚からのフォローや、係内での情報共有も徹底することで、乗り越えられました。

子どもの発熱などで急に休むこともあるので、それを想定したスケジュール管理なども意識しています。また、今の職場には同世代の子育て中の職員が多く、家事の時短方法を共有したり、家族の話をしたりと、いい息抜きの時間になっています。

「受験生に向けたメッセージをお願いします。」

子育てをしながらでも、十分やりがいのある仕事ができる職場だと思います。一緒に働ける日を楽しみにしています。

育休取得 “仕事と育児”両立は当たり前!

「育児休業を取得しようと思ったきっかけ、理由など教えてください。」

妻が妊娠する前から取得を決めていましたが、先に育児休業を取得した同僚がいたことと、職場の上司や先輩の「取ってね!」「産後すぐは大変やし子育て手伝ってあげて!」という言葉も後押しとなりました。

「育児休業を取得したからこそ感じた、育児の楽しさや困難について教えてください。」

毎日の子どもの小さな成長を実感できたことは非常に良いことだと思いました。子どもの新たなアクションがある度にスマホで何枚も写真を撮ってしまいました。

一方で、働いていると職場にいる間と通勤の間は子育てから離れることが出来ますが、育休中は24時間子どもと向き合わなければなりません。最初はスイッチの切り替えがうまく出来ず、苦勞すること

も多くありましたが、世の中の親御さんの大変さを実感することができました。

「育児休業から復職されて、仕事に対する考え方はどのように変わりましたか?」

勤務時間は決まっているので、業務量によっては時間外勤務が生じるのは仕方ないと考えていましたが、24時間子どもと向き合っている妻の負担と、早く子どもの顔が見たいという気持ちから、なんとか効率的に業務をこなそうと考えるようになりました。

「受験生に向けたメッセージをお願いします。」

誰も職場を離れば一個人としての生活があります。仕事にやりがいを感じつつ、一個人としての生活も充実させる、そんな社会人生活はいかがですか。皆さんと一緒に働けることを楽しみにしています。

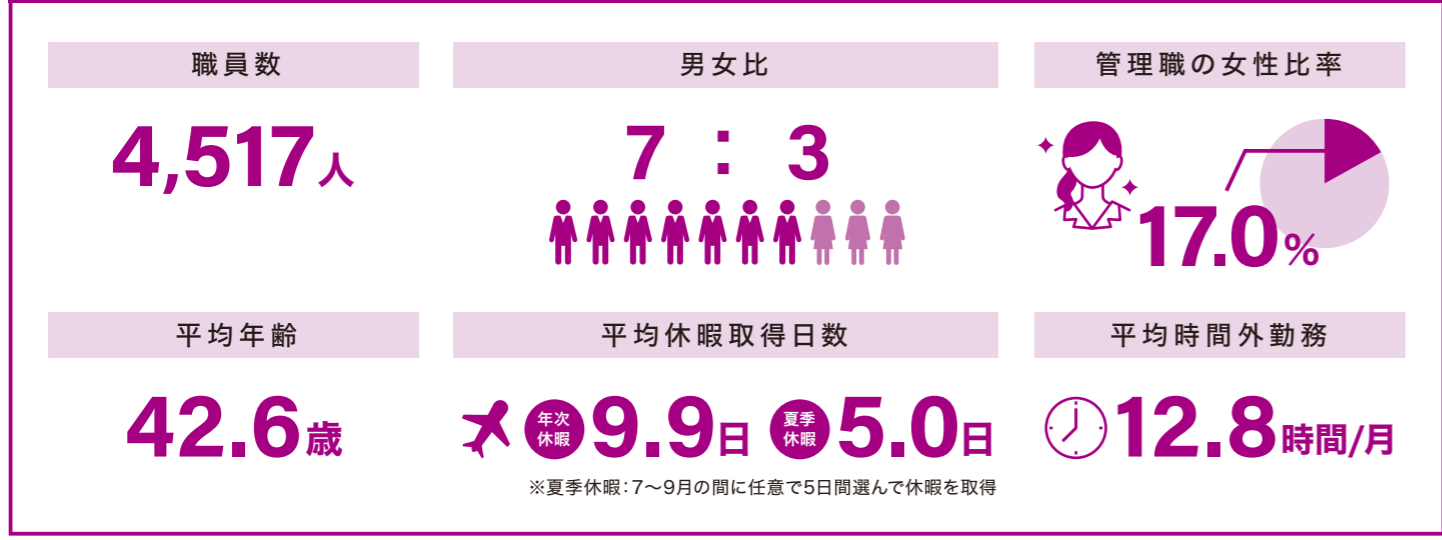


追矢 悠策

平成26年度入庁

平成26年4月 河川課
平成29年4月 山城広域振興局 商工労働観光室
令和 3年4月 監理課 現在
令和 3年9月 育休

データで見る京都府



職員生活

- **勤務日・勤務時間** …… 月曜日から金曜日の午前8時30分から午後5時15分(休憩時間は正午から午後1時まで)
※部門・職種によって、週休日・勤務日・勤務時間・休憩時間が異なる場合があります。
- **休暇制度** …… 年次休暇(年20日(4月新規採用者は15日))、夏季休暇(5日)に加え、結婚休暇、出産休暇、ボランティア休暇等の特別休暇や、育児休業制度など様々な休暇制度があります。

I 福利厚生

<ul style="list-style-type: none"> ● 住居サポート 府内各地に世帯用、単身・独身用の職員住宅があります。また、借家・借間の場合、住居手当が要件に応じて支給されます。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 健康管理サポート 全職員に対する定期健康診断又は人間ドックをはじめ、業務に応じた健康診断を実施するとともに、健康管理をテーマとしたセミナーや専門医による健康相談などを行っています。
<ul style="list-style-type: none"> ● 給付・貸付制度 共済組合の制度として、病気やケガ、入院、出産などの際の給付や、退職後などの年金の給付、住宅購入・教育にあてる資金が必要なときの貸付があります。 	<ul style="list-style-type: none"> ● サークル・自己研鑽サポート スポーツ系、文化系を問わず、様々なサークルがあります。また、職員の互助組織、共済組合を通じて、スポーツ施設の割引利用や資格取得講座等の参加に対する助成など、職員の充実した生活をバックアップします。

I 初任給

京都市内に勤務する場合の一般的な例

	行政・事務、技術	学校事務・警察事務
修士課程修了	約222,700円	約216,300円
大学卒	約208,900円	約201,700円
短大卒	約183,600円	約183,600円
高校卒	約171,400円	約171,400円

※上記は、令和4年4月1日の給料月額(基本給)と地域手当(勤務地域に応じて支給される手当。京都市内の場合9.4%)を合算した初任給の見込額です。
※職歴がある場合などは、一定の基準により加算されます。
このほか扶養手当、住居手当、通勤手当などが要件に応じて支給されます。
※ボーナスは年2回(6月・12月)で、合計4.30月分(令和3年度実績)です。
※詳細については、試験ごとに作成する試験案内でご確認ください。

I 研修制度

- **新規採用職員研修** …… 採用直後に実施
- **能力開発研修** …… キャリアアップを支えるための研修
- **実務支援研修** …… 実務に必要な様々なスキルを習得するための研修
- **その他研修** …… 連携・協働・派遣研修など

ベンチャーチャレンジ職員育成事業

所属する組織の垣根を越え、職員自らが解決したいと考える京都府の課題に向かって政策提案能力を養う研修。この研修から実際に政策へ反映された事例もあります。

I 人事異動

「自己申告制度」による年1回の異動希望調査を行い、本人の意欲・意向等を踏まえ、個々の能力・適性や経験などに応じて柔軟に人事配置を行う個別育成型の人事異動を行っています。

<p>庁内公募制度</p> <p>所属側から「業務」に対して意欲の高い職員を募集し、職員がそれに対して希望をすることで、チャレンジ精神を養い能力発揮を図るための人事制度。令和3年度は、地域振興・文化振興・子育て支援等の合計30業務で公募を行いました。</p>	<p>庁内FA制度</p> <p>職員側から、希望する「業務」にチャレンジできるよう、直接、人事異動希望先にアピールできる制度。職員のより一層の意欲向上と能力発揮を図り、質の高い府民サービスを提供することを目的としています。</p>
--	---

I 昇任

人事評価や面接評定などの昇任・昇格選考により昇任します。

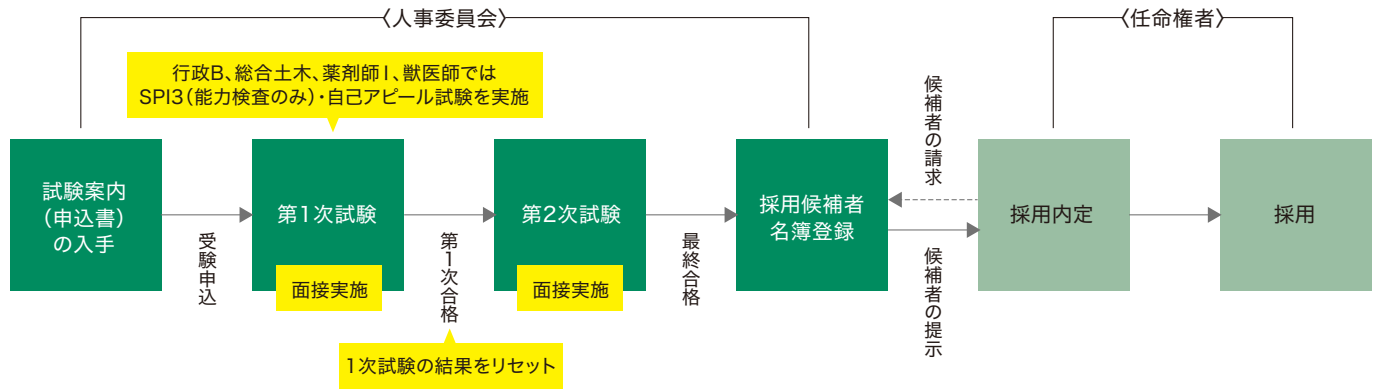


職種紹介

<p>行政・事務</p> <p>政策立案、広報、予算経理、法規、産業・観光・文化等の振興、雇用対策、防災対策などの幅広い業務を行う</p> <p>主な配属先 本庁各課及び各室、広域振興局、府税事務所など</p>	<p>電気・電子・情報工学</p> <p>府施設の電気設備工事の設計、施工管理や電気設備の維持管理、中小企業への技術援助・相談などの業務を行う</p> <p>主な配属先 本庁(営繕課など)、府営水道事務所、中小企業技術センターなど</p>	<p>総合土木(旧:土木、農業土木)</p> <p>道路、河川、都市計画など府域の基盤整備に関する計画・設計などの業務や、農村地域の防災保全、農村生活環境の整備に関する計画・設計などの業務を行う</p> <p>主な配属先 本庁(道路計画課、河川課、農村振興課など)、広域振興局、流域下水道事務所など</p>	<p>化学</p> <p>環境保全の推進、環境指標の測定、工場などの環境規制・指導、環境や衛生に関する試験検査などの業務を行う</p> <p>主な配属先 本庁(循環型社会推進課など)、保健所、保健環境研究所、中小企業技術センターなど</p>
<p>福祉</p> <p>高齢者の福祉、障害者の自立支援、子育て政策の企画調整や各種相談などの業務を行う</p> <p>主な配属先 本庁(高齢者支援課、障害者支援課など)、保健所、家庭支援総合センターなど</p>	<p>機械</p> <p>府施設の機械設備工事の設計、施工管理や機械設備の維持管理、中小企業への技術援助・相談などの業務を行う</p> <p>主な配属先 本庁(営繕課など)、府営水道事務所、中小企業技術センターなど</p>	<p>建築</p> <p>建築指導、宅地造成等の規制、住宅建設計画、府有施設の建設・維持管理などの業務を行う</p> <p>主な配属先 本庁(建築指導課、住宅課など)、土木事務所など</p>	<p>農業</p> <p>農業振興のための企画立案、農業技術の普及・指導、優良品種の育成等に関する試験研究などの業務を行う</p> <p>主な配属先 本庁(農産課など)、広域振興局、農業改良普及センター、農林水産技術センター(農林センター)など</p>
<p>畜産</p> <p>畜産業振興のための企画立案、畜産技術の普及・指導、家畜に関する試験研究などの業務を行う</p> <p>主な配属先 本庁(畜産課など)、広域振興局、農林水産技術センター(畜産センター)など</p>	<p>水産</p> <p>水産業振興のための企画立案、水産技術の普及・指導、海洋調査、水産物に関する試験研究などの業務を行う</p> <p>主な配属先 本庁(水産課など)、農林水産技術センター(海洋センター)、水産事務所など</p>	<p>薬剤師</p> <p>医薬品・医療機器製造業などの立入調査、麻薬・覚醒剤の取締り、薬事・衛生に関する指導などの業務を行う</p> <p>主な配属先 本庁(薬務課など)、保健所、保健環境研究所など</p>	<p>警察事務</p> <p>遺失拾得、物品管理等の会計事務、警察施設の維持管理、運転免許証の発行、職員の福利厚生などの業務を行う</p> <p>主な配属先 警察本部、府内各警察署など</p>
<p>林業</p> <p>林業振興のための企画立案、林業技術の普及・指導、府有林の経営、林業に関する試験研究などの業務を行う</p> <p>主な配属先 本庁(森の保全推進課、林業振興課など)、広域振興局、農林水産技術センター(森林技術センター)など</p>	<p>環境</p> <p>エネルギー政策、自然環境保全、工場などの環境規制・指導、環境に関する試験検査などの業務を行う</p> <p>主な配属先 本庁(環境管理課など)、保健所、保健環境研究所、中小企業技術センターなど</p>	<p>獣医師</p> <p>食品衛生・環境衛生に関する監視、動物の保護・管理、と畜検査、家畜等に関する試験研究、家畜防疫などの業務を行う</p> <p>主な配属先 本庁(生活衛生課、畜産課など)、保健所、農林水産技術センター(畜産センター)、家畜保健衛生所など</p>	<p>学校事務</p> <p>学校運営に係る事務の企画、立案及び連絡調整や、会計事務、給与事務、教育環境の整備などの業務を行う</p> <p>主な配属先 府内公立小・中・義務教育学校(京都市立を除く)、府立中・高等学校、府立特別支援学校など</p>

I 受験から採用まで

人物重視の試験・受験しやすい試験を推進しています。



※試験の合格者は、京都府人事委員会が作成する採用候補者名簿に登録され、任命権者(知事、教育委員会、警察本部長など)が採用者を決定します。

※欠員や辞退者の状況などにより採用されない場合もあります。

※詳細については、各試験の試験案内をご覧ください。

※職員採用試験では、障害のある方からのご連絡により合理的配慮を提供しています。詳しくは人事委員会事務局までお問い合わせください。



山本 哲司

昭和60年度入庁
令和2年4月 人事委員会事務局 現在

人事委員会事務局長からのメッセージ

「一人ひとりの夢や希望が全ての地域で実現できる京都府」

これは京都府総合計画「京都夢実現プラン」に掲げた、私たちが実現したい京都府の姿です。社会がめまぐるしく変化する中、府民の方の声を聞き、京都府を夢と希望にあふれた地域にしていくためには、皆さんの新しい力が必要です。そして京都府には、皆さんの知識や経験を広げ、様々な方と一体となって新たな発想でチャレンジできる大きなフィールドが広がっています。京都府をよりよくしたい、京都府で自分の力を発揮したい、という熱意のある方を心よりお待ちしております。さあ、皆さん。私たちと一緒に京都の未来を創り上げていきましょう。

京都府人事委員会事務局総務任用課

〒602-8570 京都市上京区下立売通新町西入数ノ内町

TEL 075-414-5648 (採用インフォメーションダイヤル)

京都府 採用情報 検索

<https://www.pref.kyoto.jp/saiyou/>



LINE、
メールマガジンも配信

試験や説明会情報などの最新情報をお届け

LINEアカウント名 京都府人事委員会事務局

LINE ID @czl9155m